

# かめおかプラスチックごみゼロ宣言

## みんなで考える亀岡の未来



特定非営利活動法人プロジェクト保津川

今年度は、米NY市で小学生の子供たちが発泡スチロールトレイ禁止を実現させるまでを描いたドキュメンタリー映画「マイクロプラスチック・ストーリー～ぼくらの作る2050年～」(2019年アメリカ、原題「microplastic madness」。制作:Cafeteria Culture)の日本語吹替版制作を通じて、次代を担う子供たちとその保護者を中心に、海外ではどんな取り組みが進められていて、それはどのようにして実現したかを学び、亀岡市での今後の取り組みについて市民自らが考えるきっかけとなることをめざした事業を実施しました。

### オーディションの開催

オンラインで実施した1次オーディションには、全国から578人の応募がありました。亀岡市内からも61名の応募があり、たくさんの子供たちが声優に挑戦しました。

1次オーディションには、亀岡市内からも20名が合格し2次オーディションに進みました。

京都先端科学大学亀岡キャンパスで、6月26日～27日にかけて実施した2次オーディションの結果、最終的には亀岡市内からは6名の声優が誕生しました。、主役の1人も亀岡市内在住の生徒が務めることになりました。

### 吹替版の収録

7月14日～18日には亀岡市内で収録を行いました。声優以外にも、「ギャ」と呼ばれる大勢の声のシーンは詳徳小学校6年生児童が務めるなど多くの児童、生徒、学生が参加しました。また、NY市長役は桂川孝裕市長が、NY市議役は福井英昭議長が、PS15校長役は國府美幸つつじ小校長にそれぞれ務めていただきました。



### プレミア上映会と舞台挨拶

日本語吹替版の完成を記念して、12月24日～30日にアップリンク吉祥寺(東京)とアップリンク京都(京都)でプレミア上映会を開催しました。プレミア上映会では、声優を担当した児童、生徒や市長、議長の舞台挨拶も行いました。



### ギャラリーかめおかでの上映会とミニコンサート

2月5日には、ギャラリーかめおかで上映イベントとミニピアノコンサート、トークイベントを開催しました(かめおか遊友ネットワークとの共催)。また、映画の舞台となった米NY市をテーマにした市内在住のピアニスト東坂萌里さんによるミニコンサートも開催し、アートを通じて環境問題や市民活動を身近に考えられる機会として開催しました。

映画上映後は、米NY市在住の佐竹敦子監督とオンラインでのトークイベントを開催し、声優を務めた桂川孝裕市長、福井英昭議長にも登壇いただき、映画の制作背景の紹介の他、これからのプラスチックごみ削減の取り組みについて話し合いました。さらに、プラスチックごみ問題をより深く知ってもらおうと、京都先端科学大学や(株)堀場テクノサービスによるマイクロプラスチック調査に関する展示も行いました。



2022年度も多くのみなさんにこの映画をご覧いただけるイベントを実施する予定です。また、上映イベントの開催をお考えの方は、ぜひプロジェクト保津川までお知らせください。  
<https://hozugawa.org> info@hozugawa.org

映画の詳細や予告編は左のQRコードを読み取ってアクセスしてください。

